

美術教育学プログラム（造形芸術系コース）における留学について

留学を考えている人は、まずチューターに「留学意欲があること」や「留学したい期間」を伝えてください

※留学しやすいタイミングは、留学先で学びたいこと、免許、資格の取得希望状況、領域分け後に取り組む卒業研究の内容などによって異なります。履修計画や留学の検討を進めるにあたって、チューター、または指導教員とよく相談をしてください。

在学中の留学実績（過去の事例）

時期：1年次前期と後期の間、1～2ヶ月

留学内容：主に協定等に基づく派遣留学（語学・文化研修等）

派遣先：大学名、国名、プログラム名等

- ・ロビーラ・イ・ビルジリ大学、**スペイン**、Study Abroad Program
- ・グルノーブル・アルプ大学、**フランス**、Campus France短期フランス語留学プログラム
- ・チュラーロンコーン大学、**タイ**、STARTプログラム
- ・オークランド大学、**ニュージーランド**、STARTプログラム
- ・フリンダース大学、**オーストラリア**、STARTプログラム
- ・ベトナム国家大学ホーチミン市校人文社会科学大学、**ベトナム**、STARTプログラム
- ・ニューサウスウェールズ大学、**オーストラリア**、シドニー異文化体験ツアー
- ・ハワイ大学、**アメリカ合衆国**、English Plus ALOHAプログラム

卒業後の留学実績（2020年度卒業生の例）

時期：卒業後3年間

行先：アメリカ合衆国

（Grand Central Atelier, NY）

留学内容：

絵画について専門的に学び、
ニューヨークで個展も開催

「留学実績」は、全て2024年7月時点の情報です

HUSAプログラム等により、3年次後期での留学を希望する場合は、領域分けの時に希望領域の教員に事前相談をしてください。

1年次前期

1年次後期

2年次前期

2年次後期

3年次前期

3年次後期

4年次前期

4年次後期

教養教育科目

専門教育科目（太字は必修科目。授業科目名は令和7年度入学生用履修規準に基づく。）

- ・ 絵画表現基礎演習
- ・ 彫刻表現基礎演習
- ・ デザイン・製図基礎演習
ほか

- ・ 芸術教育学概論
- ・ 絵画表現論
- ・ 造形芸術基礎論
ほか

- ・ 彫刻表現論
- ・ デザイン概論
- ・ 工芸表現基礎演習
ほか

- ・ 美術科教育方法・評価論
- ・ 工芸表現論
ほか

- ・ 絵画表現実践演習Ⅱ
- ・ 工芸教育素材研究Ⅰ
- ・ 美術科授業プランニング
演習 ほか

（*1）
教育実習（中・高免取得希望者）

（*2）
教育実習（高免のみ取得希望者）

領域分け

卒業研究（ゼミ（※））

卒展・論文発表会

- ・ 芸術教育教材・構成論
- ・ 彫刻表現総合演習
- ・ CG基礎演習
ほか

- ・ 美術科教育指導者論
- ・ 平面デザイン教育演習
ほか

- ・ 絵画表現研究
- ・ 工芸表現演習
- ・ 造形芸術学演習
ほか

〈留意点〉

- ・ 教員免許取得のための、教育実習に係る科目は1年次からあります（本実習は、中学・高校免許取得希望者が3年次2Tと3Tの間（*1）、高校免許のみ取得希望者が4年次1T（*2）の予定です）
 - ・ 学芸員資格取得を希望する場合、3年次後期および4年次（時期は館によって異なる）に実習科目があります
- ※領域分け後、絵画、彫刻、デザイン、工芸のゼミでは、作品制作に多くの時間が必要となります